

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和5年6月27日	
神戸市長様	
提出者 住所 神戸市東灘区住吉浜町18番地の3 氏名 日鉄エポキシ製造株式会社 神戸工場 工場長 野口 弘樹 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 078-811-8011	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	69J050 1031 日鉄エポキシ製造株式会社神戸工場
事業場の所在地	神戸市東灘区住吉浜町18番地の3
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	1635 プラスチック製造業
②事業の規模	製造品出荷額 6,260百万円(令和4年度)
③従業員数	114名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 別紙のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) 日常的に工場で発生する産業廃棄物の数量、種類を把握し関係者で情報共有を図る事で、産業廃棄物の発生についてコントロールしている。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、上記の取り組みを実施する。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 場内で発生する産業廃棄物を性状、種類等で、適切に分別して社内区分を設定し、不明点・疑問点がある場合は、処理業者、或いは行政に相談して適切に判断している。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、適切な分別になるよう、処理業者、行政と相談しながら判断していく。	

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 廃水処理で発生する余剰汚泥、対し、脱水汚泥の含水率を低減し、廃棄物量低減している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 脱水効率アップを検討し、汚泥発生量の抑制を検討する。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) 処分なし。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) 処分なし。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組) BCPの観点からも廃棄物処理業者と契約を複数結び円滑に処理が行えるようにした。 処分業者については、毎年1回(優良業者であれば3年に1回)監査を実施し、適切な処分を実施しているかどうか、チェックを行っている。	

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) BCPの観点からも廃棄物処理業者と契約を複数結び円滑に処理が行えるようにする。	
※事務処理欄		

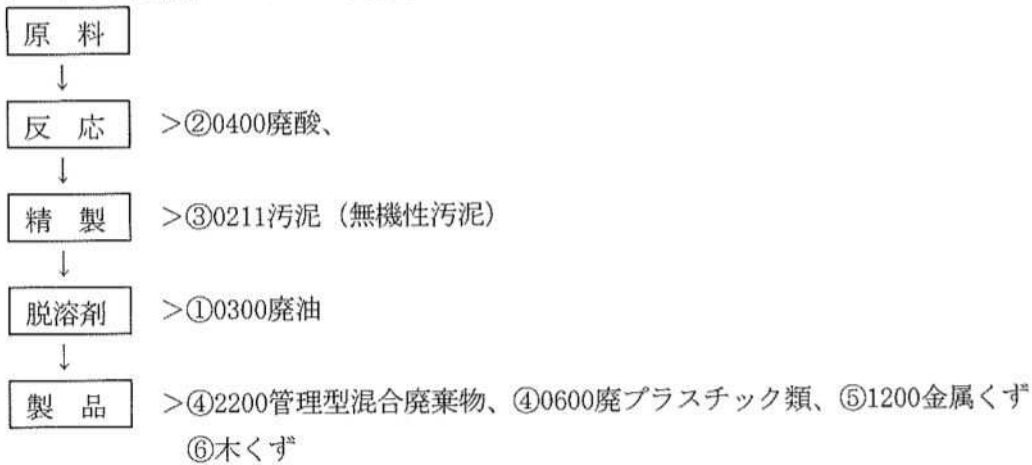
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

○ 産業廃棄物の一連の処理工程

1) エポキシ樹脂、フェノキシ樹脂製造フロー



① 0300廃油

収集運搬<委託：一宮運輸(株)>→焼却<委託：エコシステム山陽(株)>
焼却残渣は管理型処分場に埋立処分<岡山県環境保全事業団>

② 0400廃酸

収集運搬<委託：(株)パルテック>→中和<委託：(株)パルテック>
中和処理後はセメント燃料として販売

③ 0211汚泥

収集運搬<委託：大幸工業(株)>→脱水<委託：大阪ベントナイト事業協同組合>
造粒固化後埋め戻し土として再生<委託：(株)疋田建設>

④ 2200管理型混合廃棄物、0600廃プラスチック類

収集運搬<委託：(株)中央環境>→破碎・圧縮成型<委託：(株)セーフティアイランド>
→RPFとして販売

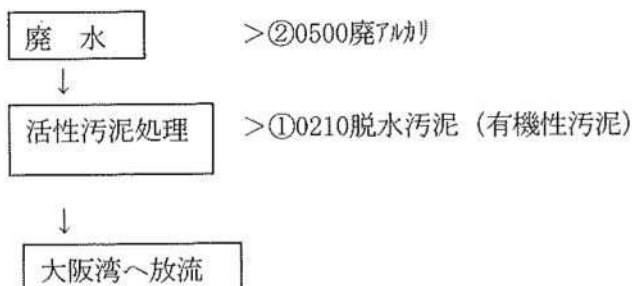
⑤ 1200金属くず

収集運搬<委託：(株)中央環境>→破碎<委託：西播商事(株)>
焼却残渣は埋立処分<(株)明和クリーン>

⑥ 0800木くず

収集運搬<委託：(株)中央環境>→破碎<委託：(株)セーフティアイランド>
→破碎後リサイクル

2) 廃水処理フロー



① 0210有機性汚泥

収集運搬<委託：(株) リヴァックス>→乾燥<委託：(株) リヴァックス>→原燃料<委託先：住友大阪セメント(株)>→セメント原料として利用>

② 0500廃アルカリ

収集運搬<委託：本山運輸(株)>→焼却し残渣は埋立<委託：日本エコロジー(株)>

3) それ以外の廃棄物発生

①2500水銀使用製品産業廃棄物

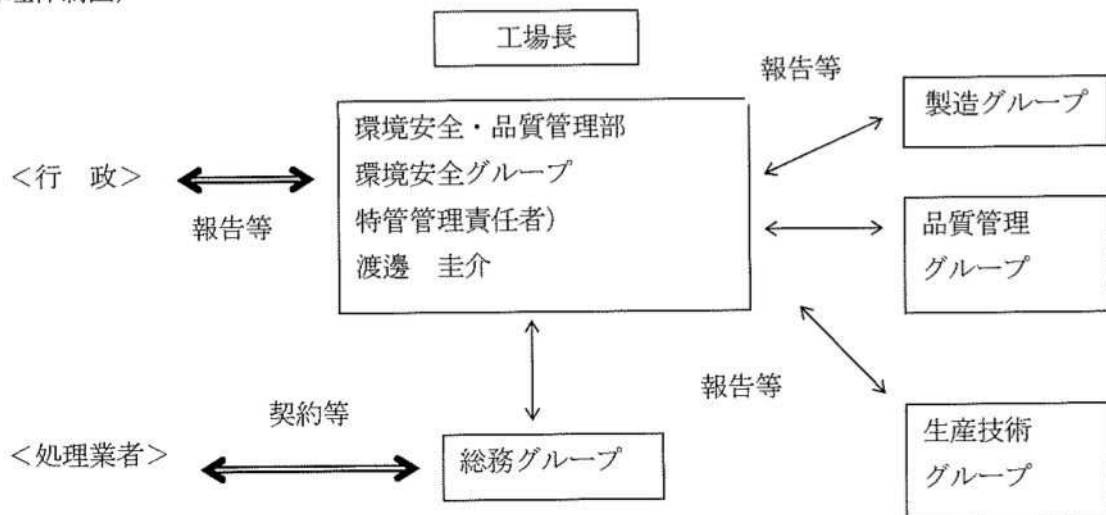
収集運搬<委託：(株) 中央環境>→破砕及び水銀回収による再資源化<委託：(株) ジェイ・エム・アール>→破砕後リサイクル

②3100廃電気機械器具

収集運搬<委託：(株) リヴァックス>→破砕<委託：ミナミ金属(株)>→破砕後リサイクル

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



* 分担

環境安全グループ

- ・関係法令の把握、遵守
- ・工場全体の廃棄物の管理指導
- ・廃棄物関係の行政機関提出書類の作成及び報告

総務グループ

- ・工場(全体)から、運搬・処理業者へ委託した廃棄物の管理
- ・産業廃棄物の運搬・処理委託先情報の管理
- ・産業廃棄物処理の委託先の選定・交渉及び契約書の締結
- ・産業廃棄物の電子マニフェストの作成及び管理

製造グループ

- ・工場(全体)から発生する産業廃棄物の量の把握
- ・産業廃棄物全体の保管管理—表示、施設・容器の維持管理
- ・産業廃棄物の減量化の推進

品質管理グループ、生産技術グループ

- ・各部署・各プラントの廃棄物発生量の把握
- ・廃棄物の置き場の管理、整理整頓の周知

